

- 問1 明治時代に発生した足尾銅山鉱毒事件の背景や経緯について説明した文として、適切なものはどれか選びなさい。 (2026年 沖縄県公立入試 類似)
- 高度経済成長期の日本において、石油化学コンビナートから排出された煙による大気汚染が原因で発生した。
 - 熊本県や新潟県の沿岸部で、工場排水に含まれる有機水銀が食物連鎖を通じて人々の神経系を侵した。
 - 富国強兵や産業の発展が優先される中で、銅山から流れ出た鉱毒が渡良瀬川流域の広範囲に甚大な被害をもたらした。
 - カドミウムを含む排水が富山県の神通川に流れ込み、骨がもろくなるなどの深刻な健康被害を住民に与えた。
- 問2 明治時代の外交に関する次の3つの出来事を、年代の古いものから順に並べた場合、正しい順序の組み合わせはどれですか。 (2023年 青森県公立入試 類似)
- 日英同盟の締結 → 下関条約の調印 → 関税自主権の完全回復
 - 下関条約の調印 → 関税自主権の完全回復 → 日英同盟の締結
 - 関税自主権の完全回復 → 下関条約の調印 → 日英同盟の締結
 - 下関条約の調印 → 日英同盟の締結 → 関税自主権の完全回復
- 問3 明治時代から大正時代にかけての日本の近代産業に関する記述として、蚕（かいこ）がつくる繭（まゆ）を原料とし、日露戦争後には輸出高が世界一となって日本の近代化を支えた主要な輸出品は何か、答えなさい。 (2017年 佐賀県公立入試 類似)
- 茶
 - 羊毛
 - 綿糸
 - 生糸
- 問4 1877年に発生した西南戦争が政府軍の勝利に終わり、土族による武力反乱が鎮圧された後、政府に対する反対運動はどのように変化しましたか。その後の歴史的展開として正しい説明を選びなさい。 (2023年 新潟県公立入試 類似)
- 武力による抵抗では政府を倒せないことが明らかになり、国会の開設などを求める言論による自由民権運動が盛んになった。
 - 武力による反抗が不可能になったため、不満を持つ人々は一斉に海外への移民を選択し、国内の政治運動は沈静化した。
 - 政府への不満は消滅し、すべての国民が政府の進める富国強兵政策に無条件で協力する体制が完成した。
 - 土族たちは再び江戸幕府を再興させるために、欧米列強と結んで軍備を整え直す秘密結社を組織した。
- 問5 第一次世界大戦前のヨーロッパで形成された「三国協商」の成立過程や背景についての説明として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 山口県公立入試 類似)
- 日露戦争でロシアが敗北した後、東アジアにおけるドイツの進出を抑えるために、日本を含む4カ国で調印された。
 - アメリカ合衆国のウィルソン大統領が提唱した「民族自決」の原則に基づき、地中海の平和を維持するために結成された。
 - 露仏同盟、英仏協商、英露協商という、イギリス・フランス・ロシアの二国間での取り決めを基盤として成立した。
 - ドイツ、オーストリア、イタリアの3カ国が秘密裏に結んだ軍事同盟を指し、後にイギリスが加わって強化された。
- 問6 1877年に起こった西南戦争の戦費を調達するため、政府が大量の不換紙幣を発行したことで生じた、急激な物価の上昇を何と呼びますか。また、この経済混乱を収拾し、通貨の価値を安定させるために設立された機関を選びなさい。 (2021年 広島県公立入試 類似)
- デフレーションと国立銀行
 - インフレーションと横浜正金銀行
 - インフレーションと日本銀行
 - デフレーションと日本銀行
- 問7 明治政府が欧米の近代技術を導入して官営模範工場を設立した主な理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 宮崎県公立入試 類似)
- 主要な輸出品である生糸の品質向上と増産を進め、外貨を獲得して日本の近代化資金にあてるため。
 - 外国からの輸入生糸に対抗するため、国内消費向けの高品質な絹織物を安価に供給しようとしたため。
 - 国内の綿糸消費量をまかなうため、大量生産が可能な紡績業を急速に発展させる必要があったため。
 - 農村の余剰労働力を吸収し、重化学工業を中心とする産業革命を早期に達成しようとしたため。
- 問8 明治時代の紡績工場における労働実態について述べた文として、当時の記録や統計に示されている状況と一致するものはどれですか。 (2023年 富山県公立入試 類似)
- 休憩時間を除いた実労働時間が1日11時間に及ぶような、非常に過酷な長時間労働が常態化していた
 - 輸出額の増加に伴って労働条件が改善され、短時間労働でも高い賃金が得られるようになった
 - 機械化の進展により、労働者の中心は熟練した技術を持つ成人男性へと移行していた
 - 労働組合の結成が進んだことで、1日8時間労働と十分な休憩時間が制度として確立されていた
- 問9 1874年に板垣退助らが提出した「民撰議院設立白書（建白書）」において、当時の明治政府に対して行われた主な主張として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 福島県公立入試 類似)
- 大日本帝国憲法の草案を作成するために、ヨーロッパ諸国の憲法を調査するための使節団を派遣することを政府に求めた。
 - 内閣制度を創設することで、天皇を補佐する行政機関の権限を強化し、近代的な国家体制を整えるよう提案した。
 - 薩摩藩や長州藩などの一部の藩の出身者が権力を独占する「藩閥政治」を批判し、国民が選んだ議員による議会の開設を求めた。
 - 国会開設の勅諭が出されたことを受け、10年後の議会開設に向けて自由党や立憲改進黨などの政党を結成することを宣言した
- 問10 1895年の下関条約から1914年の第一次世界大戦勃発までの時期に結ばれた、日露戦争の講和条約に関する記述として、その背景や内容が正しいものはどれか。 (2023年 香川県公立入試 類似)
- 清との間で締結され、遼東半島の割譲を認めたが、その直後にロシア・ドイツ・フランスによる三国干渉を受けた。
 - 第一次世界大戦の最中に締結され、日本は中国に対して山東省の権益を譲り渡すよう要求した。
 - 日清戦争の勝利を受けて締結され、日本は多額の賠償金を得て、それを元手に八幡製鉄所を建設した。
 - アメリカのポーツマスで締結され、日本はロシアから旅順・大連の租借権を継承し、韓国への指導権を確立した。
- 問11 1872年に公布された学制以降、明治時代の教育普及状況について述べた文として、正しいものはどれですか。1870年代から1910年頃までの統計的な推移を踏まえて選びなさい。 (2018年 徳島県公立入試 類似)
- 明治初期から男子の就学率は100%に達していたが、女子の就学率が上昇し始めたのは日露戦争が終わった後のことである。
 - 学制が発布された当初から、富国強兵の観点から男女の格差なく100%近い就学率が達成されていた。
 - 女子の就学率は明治時代を通じて男子を上回ることなく、1910年時点でも50%程度の水準にとどまっていた。
 - 明治初期の女子の就学率は約20%と、約50%であった男子に比べて大幅に低かったが、明治末期には男女ともに100%近くに達した。
- 問12 明治時代後半、日本の紡績業は大きな転換期を迎えました。1890年代の統計において、綿糸の生産体制や貿易状況の変化を説明したものとして、最も適切な内容を選んでください。 (2018年 岩手県公立入試 類似)
- 明治初期から一貫して機械工業による綿糸生産が行われていたが、労働力不足により1890年代後半に輸出量が初めて輸入量を下回った。
 - 重化学工業の発展に伴い、機械工業による綿織物の生産が急増したが、原料となる綿糸については依然として輸入が輸出を上回り続けた。
 - 政府による輸入制限の結果、手工業による綿織物の生産が再び盛んになり、1890年代前半には国内自給率が100%に達した。
 - 伝統的な手工業から機械を用いた大規模な工場生産へと変化したことで、1890年代後半には綿糸の輸出量が輸入を上回るようになった。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 富国強兵や産業の発展が優先される中で、銅山から流れ出た鉱毒が渡良瀬川流域の広範囲に甚大な被害をもたらした。	足尾銅山鉱毒事件は、明治政府が近代化と外貨獲得のために銅の増産を急いだ一方で、環境や住民の生活が軽視されたために発生しました。他の選択肢にある「四大公害病（水俣病、イタイイタイ病、四日市ぜんそく）」は、戦後の高度経済成長期に深刻化したものであり、明治時代に発生した足尾銅山鉱毒事件とは発生した時代や原因物質が明確に異なります。
問2	答え 4 下関条約の調印 → 日英同盟の締結 → 関税自主権の完全回復	日清戦争の講和条約である下関条約は1895年に調印されました。その後、ロシアの南下政策に対抗するため1902年に日英同盟が結ばれ、日露戦争を経た明治末期の1911年、小村寿太郎によって関税自主権の完全な回復が達成されました。
問3	答え 4 生糸	蚕の繭を加工して作られる繊維製品は、明治時代以降、日本の貴重な外貨獲得源として輸出の中心的役割を果たしました。特に1909（明治42）年には、それまで1位だった中国を抜いて世界最大の輸出量を記録し、日本の国際的な経済的地位を高める要因となりました。
問4	答え 1 武力による抵抗では政府を倒せないことが明らかになり、国会の開設などを求める言論による自由民権運動が盛んになった。	西南戦争において、徴兵制によって組織された政府の近代的な軍隊が、伝統的な士族の軍勢を圧倒したことは大きな転換点となりました。これにより、力による政府打倒の限界が証明されたため、反対運動の主流は「武器」から「言葉」へと移りました。板垣退助らを中心に、憲法の制定や国会の開設を求める自由民権運動が全国的な広がりを見せることとなります。
問5	答え 3 露仏同盟、英仏協商、英露協商という、イギリス・フランス・ロシアの二国間での取り決めに基盤として成立した。	三国協商は一つの条約で成立したのではなく、1894年の露仏同盟、1904年の英仏協商、1907年の英露協商という、3つの二国間協力をつなぎ合わせた協力体制を指します。これにより、ドイツ・オーストリア・イタリアによる「三国同盟」に対抗する、ヨーロッパを二分する対立構造が明確になりました。
問6	答え 3 インフレーションと日本銀行	西南戦争の膨大な戦費を賄うために政府が紙幣を乱発した結果、紙幣の価値が下がり物価が急騰するインフレーションが発生しました。この事態を解決するため、1882年に中央銀行としての役割を持つ日本銀行が設立され、紙幣の発行高を管理することで物価の安定が図られました。
問7	答え 1 主要な輸出品である生糸の品質向上と増産を進め、外貨を獲得して日本の近代化資金にあてるため。	明治初期の日本において、生糸は最大の輸出品でした。品質のばらつきを解消し、西洋の最新技術を導入して品質向上と大量生産を実現することで、外貨を獲得し国の近代化を進める目的で官営模範工場が設立されました。綿糸や紡績業ではなく、生糸と製糸業が中心であった点に注意が必要です。
問8	答え 1 休憩時間を除いた実労働時間が1日11時間に及ぶような、非常に過酷な長時間労働が常態化していた	明治期の紡績工場では、国際競争に勝つために生産効率を最優先し、低賃金かつ長時間の労働を強いる体制がとられていました。当時の実態を記した資料によると、休憩時間を差し引いても拘束時間が非常に長く、1日11時間もの労働が行われるなど、現代の基準からは考えられないほど厳しい環境にありました。こうした状況は後に、工場法などの労働保護法案が検討されるきっかけとなりました。
問9	答え 3 薩摩藩や長州藩などの一部の藩の出身者が権力を独占する「藩閥政治」を批判し、国民が選んだ議員による議会の開設を求めた。	明治初期の政府は、特定の藩の出身者が政治の実権を握る「藩閥政治」を行っていました。これに対し、板垣退助らは民撰議院設立白書（建白書）を提出し、広く国民の意見を反映させる議会の必要性を訴えました。これが自由民権運動の始まりとなりました。
問10	答え 4 アメリカのポーツマスで締結され、日本はロシアから旅順・大連の租借権を継承し、韓国への指導権を確立した。	1905年に結ばれたポーツマス条約は、日清戦争（下関条約）と第一次世界大戦の間に位置する重要な出来事です。この条約により、日本はロシアから遼東半島南部の旅順・大連の租借権や、樺太の南半分、韓国における優越権を獲得しました。賠償金が得られなかった背景には、戦争の継続が困難だった日本の内情や、ロシア側の強硬な態度、アメリカによる仲介の性質などが関わっています。
問11	答え 4 明治初期の女子の就学率は約20%と、約50%であった男子に比べて大幅に低かったが、明治末期には男女ともに100%近くに達した。	明治政府が学制を公布した当初、女子を学校に通わせるという意識は社会全体でまだ低く、1875年時点の就学率は男子が約50%に対し、女子は約20%と明確な男女差が存在しました。しかし、その後の義務教育の整備や社会の変化にともない就学率は上昇し、日露戦争が行われていた1905年頃には男女ともにほぼ100%に近い水準まで普及しました。
問12	答え 4 伝統的な手工業から機械を用いた大規模な工場生産へと変化したことで、1890年代後半には綿糸の輸出量が輸入量を上回るようになった。	19世紀末、日本では大阪紡績会社の成功などをきっかけに、蒸気機関などの機械を導入した大規模な工場生産（機械工業）が急速に普及しました。この技術革新により、1890年には綿糸の国内生産量が輸入量を上回り、さらに1897年には輸出量が輸入量を上回るという劇的な変化が起こりました。これは日本の産業革命における軽工業の発展を象徴する出来事です。